

ISBN : 978-4-87592-196-7

日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画  
国文研主導共同研究「青少年に向けた古典籍インターフェースの開発」報告書

# 初中等学校における古典教育

小山 順子 編

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館

2019年3月

## 緒言

本報告書は、国文学研究資料館の歴史的典籍 NW 事業・国文研主導共同研究「青少年に向けた古典籍インターフェースの開発」（研究期間：2015～17年度、研究代表者：2015年度・田中大士、2016～17年度・小山順子）の成果の一環である。なお本共同研究は、JSPS科学研究費補助金（基盤研究(A)）「日本古典籍における表記情報学の発展的研究」（研究期間：2015年4月～2020年3月、代表者：今西祐一郎、課題番号：15H01875）の助成を受けたものである。

当共同研究では、「初中等学校における古典教育」研究会を全5回開催した。研究会は当初、小学校・中学校の生徒を対象とした古典教育の方法を模索するものとして始めた。指導要領の改定に伴い、古典教育を重視する方向性が打ち出されたことに伴い、アカデミックな立場から古典の導入教育を模索する必要性を感じたからである。しかし研究会を進めるにつれ、小・中学校のみに対象を限るのではなく、大学の導入授業も含めた教育・普及活動についての報告の必要も感じた。大学ではFD活動の一環として公開授業があるとはいえ、同業者がどのような授業実践をしているかを知る機会ほとんどない。研究会では、大学の国文学科・日本文学科における授業だけではなく、短期大学・文理融合・教員養成課程などの様々な教育現場から、それぞれが常日頃行なっている工夫・問題意識・課題について報告していただいた。そのため、本報告書は、研究会開始時に付した研究会名「初中等学校における古典教育」の名を冠したが、収めた報告は、必ずしも初中等学校のみを対象とするものだけではない。広く、古典文学教育に関する授業実践・啓蒙活動についての報告を収めたものとなっている。

研究会では、各報告の後に、報告者に対する質問や、報告をめぐっての意見交換が活発に行われた。参加者による意見や質問も、報告内容を掘り下げる有意義なものが多かった。しかし質問や意見は多岐にわたり全てを収めるのは困難であること、さらには個人情報に触れる内容も含まれるため、本報告書では、報告者それぞれの報告内容を残すことを最優先とし、質疑応答は割愛した。

また、全5回の研究会における報告を、報告者各位にまとめ直していただき本報告書に収めたが、第2回研究会における小山の報告「和歌のレトリックを教える—和歌を“近づける”ための実践例—」は、その後、2018年度中古文学会秋季大会（2018年10月20日於ノートルダム清心女子大学）の大会企画シンポジウム「古典をいかに「発信」するか—文学・文化・文化財—」においてほぼ同じ内容を報告し、それをまとめたものが「和歌を「近づける」ための授業実践」（『中古文学』第103号、2019年5月刊行予定）として掲載される予定である。重複を避けるため、本報告書には収めなかったことを断っておく。

なお、報告の中における肩書きや所属などの情報は、すべて報告当時のものである。報告者の所属・職階に変更が生じた場合は、現職を注記した。

報告書をまとめるにあたっては、報告者各位に、当日の報告に基づいて、確認と修訂の労を取っていただいた。多忙な中で報告を行い、さらには原稿をまとめてくださった報告者各位に、心より御礼申し上げます。

2019年2月末日

小山 順子

## 目 次

緒言	…… 1
第 1 回研究会	
「小学生向け和本レクチャー」実施報告—鶴見大学図書館・神奈川県立図書館による— 久保木 秀夫…… 3	
古典の知識普及のための実践例	入口 敦志…… 13
古典文学の POPULARIZATION—江戸時代庶民文芸の再評価—	山下 則子…… 23
第 2 回研究会	
アクティブラーニングによる古典教育	平野 多恵……34
Digital Humanities の実践例—国文学研究の裾野を広げるために—	福田 智子…… 43
第 3 回研究会	
富士ゼロックス京都の CSR 活動—伝統文化推進をテーマにした社会貢献 —複製古文書作成での文化推進活動— 富士ゼロックス京都 CSR グループ 文化推進室…… 62	
デジタル世代に和本のアナログ文化を伝える	小林 一彦…… 72
第 4 回研究会	
教員志望学生に向けての古典文学教育授業実践	阿尾 あすか…… 92
古典と現代をつなぐ—自主ゼミ活動と二次創作の試み—	石井 倫子…… 102
第 5 回研究会	
国語史教育と古典教育	山中 延之…… 120
古典の普及活動への取り組み	小山 順子…… 130

研究成果報告書

初中等学校における古典教育

平成 31 年 3 月 31 日発行

編集

日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画（略称：歴史的典籍NW事業）

国文研主導共同研究「青少年に向けた古典籍インターフェースの開発」

研究代表者 小山順子

発行

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館

〒 190-0014 東京都立川市緑町 10-3